

保冷ボックス → 「iP-TEC®ジャストライトBOX」



EPSよりも保温効果が約1.2倍高い発泡XPS製です。

サイズ：外寸 W335×D275×H290mm程度

有効内寸 W235×D175×H190mm程度

この発泡XPS製BOXを外装のソフト保冷バッグに入れます。
バッグの外寸はW385×D305×H330mm程度となります。



ショルダーベルト付き

蓄冷材 → 「iP-TEC®潜熱蓄冷材-5」



5°Cを安定的に保持する潜熱蓄冷材です。

蓄冷材は50穴ラックの数量にかかわらず3枚収納します。

右図をご参照ください。

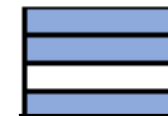
なお、蓄冷材3枚の場合、**外気温35°C条件下で、2~8°Cを17時間保持します**（評価グラフをご参照ください）

外寸法(mm)：W230×D162×H29

重量(1枚あたり)：約650g

注>蓄熱材の使用には調温が必要です。次項をご参照ください。

BOX内の蓄冷材とバイアルラックの積載イメージ。青が蓄冷材、白がラックを表します。



ラック1個使用時

◎総重量（ラック除く）**約3.5kg**

50穴バイアルホルダー → 発泡ポリエチレン製



バイアルのサイズである直径16.25mm±0.25mmに合う仕様です。

ポリエチレン発泡体を用いた仕様でバイアル瓶を嵌め込むことで、輸送時のガタつきを抑えることができます。

なお、繰り返しの使用が可能です。

サイズ 160×225×22mm程度

STEP1 蓄冷材の調温

【冷凍冷蔵庫で実施の場合】

手順1：冷凍庫（-30～-18℃）→5～6時間



手順2：冷蔵庫（3～5℃）→1～1.5時間

または

室温（25℃付近）→10分

【蓄熱材調温器ACT3を使用する場合】

プログラム運転1を選択、実行→6.5時間



蓄熱材調温器ACT3で
調温の様子

※蓄冷材はMAX 30枚収納可能

※使用前に蓄冷材の表面温度を非接触温度計
等で温度逸脱がないか確認してください
※冷凍庫やACT3に蓄冷材を設置する際は左の
写真のように間隔をあけてください



左：調温前
（中身が透明）
右：調温後
（中身が白色）

STEP2 BOX内にセット

バイアルホルダー

ZipLoc

蓄冷材



①蓄冷材を1枚設置



②ホルダーにバイアルをセットし
ZipLocに入れて封をする
これを①の上に設置



③さらに蓄熱材2枚を
積み重ねて蓋を閉じる
緩衝材で隙間を埋めて
蓋を被せる



④ 外装バッグのファスナーを閉じる



※外気温35°Cの条件下でBOX内の温度データとなります。

iP-TEC®潜熱蓄冷材-5を3枚とジャストライトBOXの組み合わせで実施

グラフ 1：検体容器内（ワクチンの場合バイアル内） 2：外気温

・冷蔵温度帯（2～8°C）を17.5時間維持

